

○基本情報

記載日

平成28年2月15日

団体名	株式会社神戸フェリーセンター	所管局名	みなと総局
設立目的	昭和40年代当初の内航海運での輸送量の増大に伴い、積載効率が高く経済性にも優れた大型カーフェリーが増加し、大型駐車場や海陸交通の効率的結合機能を有する埠頭施設設置の要請が高まったことから設立。各フェリー会社の埠頭使用・離着岸・乗船券発売等の船舶運航あたり、フェリー埠頭の公共性を維持しながら、その機能を発揮することにより車両や旅客貨物の安全輸送に資するとともに、フェリー輸送だけでなく神戸港の発展に寄与すること。		

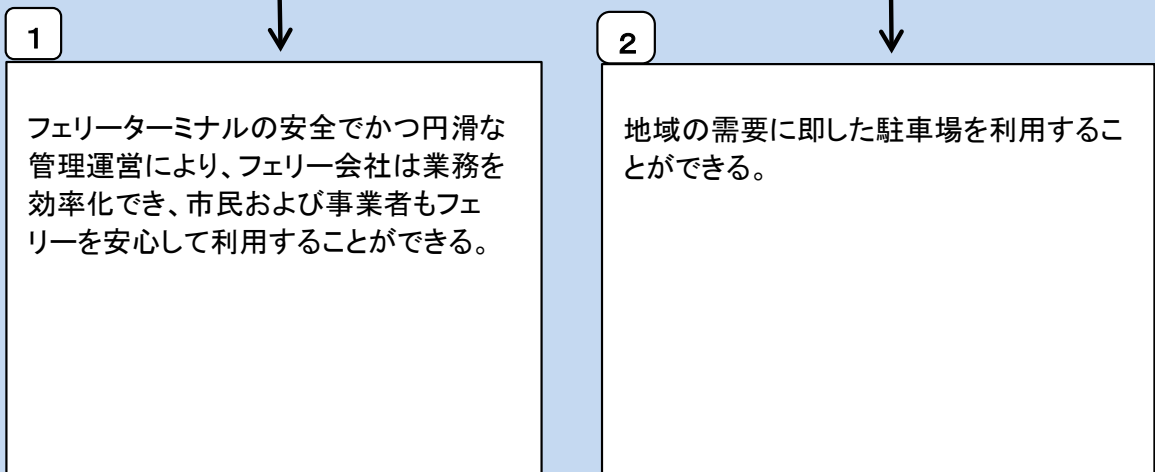
M

市が団体に求めるMission

長期	フェリー航路の維持・拡大のため、フェリー会社の船舶運航の陸上作業を主体とする業務の一元化により、安全で効率的な公共フェリー埠頭の管理を行う。
5年	<p>1……フェリー事業については、安全確保及び円滑・効率的な運営を行うとともに、経費の削減も図ること。</p> <p>2……駐車場については、需要や動向等を見ながら、弾力的な運用を図ること。</p> <p>【2020ビジョン及び部門別計画等との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神港国際コンテナ戦略港湾の更なる推進と、多様な貨物輸送の強化を通じた神戸港の港勢拡大(フェリー会社が貨物輸送を行う際の安全確保や利用調整等)

V

市民に提供する価値 Value



1
フェリーターミナルの安全でかつ円滑な管理運営により、フェリー会社は業務を効率化でき、市民および事業者もフェリーを安心して利用することができる。

2
地域の需要に即した駐車場を利用することができる。

T

事業目標 Target

A
 1.ヤード・ターミナルの点検整備を徹底する。
 2.警備の強化を図りヤード・ターミナル内での事故ゼロを目指す。

B
 ニーズに合わせた駐車場形態で契約率の向上を図る。
 平成26年度実績からおおむね5%増を目指す。

平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年8月27日
団体名	株式会社神戸フェリーセンター	所管局名	みなと総局

○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:事業4)
H29事業目標	フェリーターミナルの安全確保のため、施設の点検整備をさらに徹底するとともに、ヤード内業務を担う従業員の習熟度向上を図る。		
H29実績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的にヤード内で車両誘導等の作業を行う現場従業員から、舗装の不良個所等の報告が入る体制をとっている。 ・それとは別に、管理担当職員が適宜、現場を巡回し、不良個所の発見に努めている。 ・不良個所があった場合、神戸市に修繕等の要請を行っているが、平成29年度は、ヤード内にあるマンホール蓋の損傷の修繕、排水溝周りの損傷の修繕要請を行い、修繕の実施によりヤードの安全性を確保した。 ・また、ターミナル入口付近の照明柱について、接触する車両があるなど、危険性があったため、改善要請を行い、照明柱を撤去して、照明を歩廊に添架する方式に切り替えたことにより、安全性が向上した。 ・さらに、ヤード内に存在する照明柱に車両が衝突する事故が重なったために、移設を要請し、移設後は、照明柱に衝突する事故は発生していない。 ・また、従業員の安定的な定着が習熟度向上につながることから、現場業務に携わる契約社員2名を正社員にした。 		評価
			S A B C
H30事業目標	フェリーターミナルの安全確保のため、施設の点検整備をさらに徹底するとともに、ヤード内業務を担う従業員の習熟度向上を図る。		
評価担当者	総務部長 西村正		

事業No.	2-B	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:事業5)
H29事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートアイランドの駐車場については、月極駐車場、時間貸駐車場、バス駐車場、洗車場が揃った駅に近い駐車ゾーンとして、さらなる利用促進を図ること。 ・青木の駐車場については、契約台数を維持していくこと。 		
H29実績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートアイランドの住民用駐車場の契約台数については、平成28年度末の156台に対し、平成29年度末は159台となり、若干の増加を図ることができた。 ・洗車場については、平成28年度の月平均売上が342,526円だったのに対し、平成29年度の月平均売上が627,182円となり、大幅に利用を増加させることができた。 ・青木の駐車場については、平成28年度末の123台に対し、平成29年度末は120台となり、微減となったが、概ね契約台数の維持を図ることができた。 ・なお、MVTシートで当初に設定した事業目標は、「平成26年度実績からおおむね5%増を目指す」というものであったが、平成26年度末実績(ポートアイランドと青木の合計249台)に対し、平成29年度末実績(ポートアイランドと青木の合計279台)は、12%増となっている。 		評価
			S A B C
H30事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートアイランドの駐車場については、月極駐車場、時間貸駐車場、バス駐車場、洗車場が揃った駅に近い駐車ゾーンとして、さらなる利用促進を図ること。 ・青木の駐車場については、契約台数を維持していくこと。 		
評価担当者	総務部長 西村正		

平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年8月30日
団体名	株式会社神戸フェリーセンター	所管局名	みなと総局

○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	<p>【ミッション毎の評価】</p> <p>1 フェリー事業について……評価 A (上記評価の理由) 施設の設備点検体制を確保し、不良箇所・危険箇所の修繕要請を行うことによりターミナルの安全性を確保するとともに、職員の安定的な定着に努めるなど、フェリー運営の安定化に向けた取り組みを進め、業務の効率化を図ることができたと評価できる。</p> <p>2 駐車場事業について……評価 A (上記評価の理由) ポートアイランド駐車場については契約台数が増加し、洗車場も月平均売上が大幅に増加している。青木駐車場についても概ね契約台数を維持を図ることができたことから、地域需要に即した運営に努めたと評価できる。</p> <p>【総合評価の理由】 すべての事業目標について目標達成している。</p>	総合評価
		<p>S</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p>
<p>対応方法</p> <p>(総合評価がB又はCの場合は必ず記載)</p>	/	
評価担当者	みなと総局総務課長 和泉 智久	